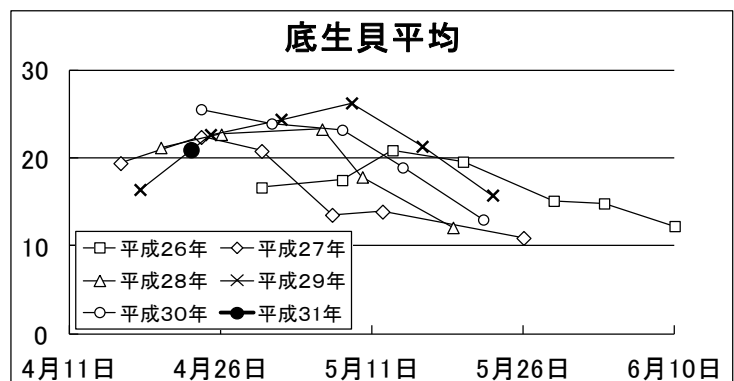
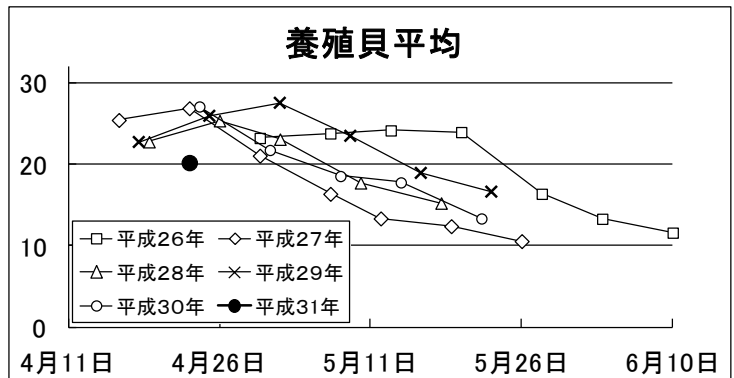


◎生殖巣熟度調査

4月23日にホタテガイ生殖巣熟度調査を行いました。これはホタテの生殖巣の重さと軟体部の重さの関係から、産卵時期を推定する調査です。

その結果、養殖貝の生殖巣熟度指数は20.2 (床丹、赤川の平均)、底生貝は20.9 (ワッカ、芭露地区の平均)で、養殖貝は平年より低く、底生貝は平年並みの状態です。



◎成長モニタリング調査結果

4月23日に養殖ホタテガイの成長モニタリング調査を行いました。

その結果、3年貝の成長は、全重量123.5g、殻高94.7mmで、過去10年平均値(136.7g, 98.3mm)を下回っていました。

2年貝(選別前)の成長は殻高54.1mmで過去10年平均(55.4mm)を下回っていました。

